



NEWSLETTER

北海道大学病院
地域医療連携福祉センター

整形外科

国内初の吸収性軟骨再生用材料 「モチジェル®」による軟骨修復治療

北海道大学病院と持田製薬が共同開発した「モチジェル®」が、保険診療で使用可能となりました。
膝関節・肘関節の軟骨欠損に対する、新たな治療選択肢です。

目次

CONTENTS

02

新しい軟骨再生治療

03

治療成績・安全性

04

スポーツ医学診療
センターのご紹介

05

整形外科医師一覧

06

ご予約・ご案内



新しい軟骨再生治療

関節軟骨損傷に対する新たな治療選択肢として、国内初の吸収性軟骨再生用材料「モチジェル®」が保険診療で使用可能となりました。骨髄刺激法と組み合わせることで、低侵襲に軟骨再生を促進します。

国内初

保険適用の吸収性
軟骨再生用材料

細胞を 使わない

再生医療

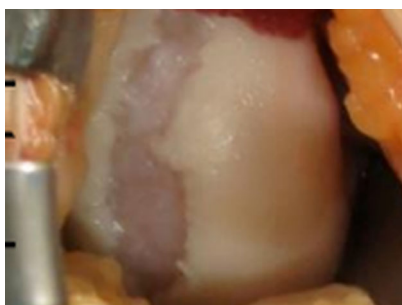
関節鏡下

で施行可能

ドナー採取 が不要

治療の流れ PROCEDURE

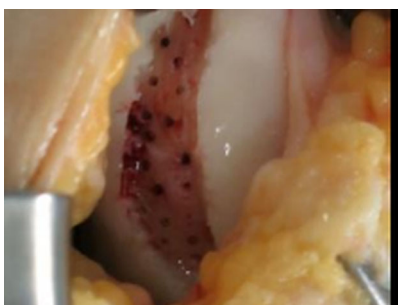
01



欠損部の確認・廓清

軟骨欠損の範囲を確認し、変性した軟骨を廓清します。

02



骨髄刺激（ドリリング）

軟骨下骨に小孔を作成し、骨髄由来の細胞を欠損部へ動員します。

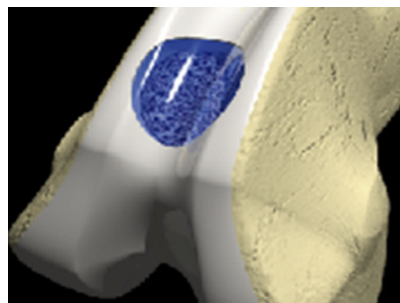
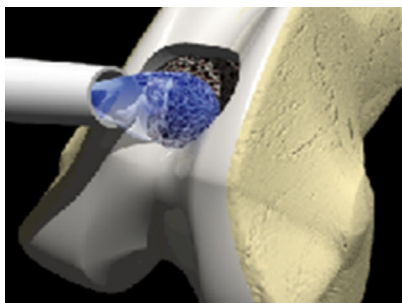
03



モチジェル®注入・固定

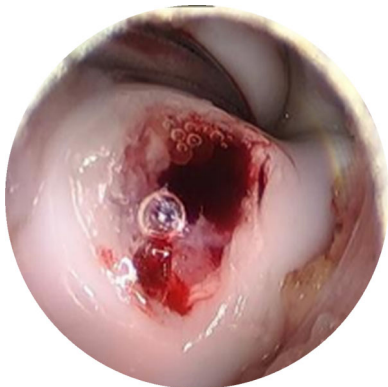
欠損部にモチジェル®を充填・固定し、軟骨再生の場を確保します。

欠損部で起きていること MECHANISM



欠損部にゲルを充填し、その場に固定する（イメージ図）

臨床試験で示された 有効性と安全性



本邦で実施された臨床試験では、膝関節・肘関節の軟骨損傷を対象に、疼痛・機能評価とあわせて、MRIおよび関節鏡による軟骨修復の状態や有害事象の発現状況を評価しました。

関節鏡所見：関節軟骨の欠損部。直視下に欠損の範囲と深さを評価する。

Efficacy

有意に改善

疼痛・機能評価。MRIおよび関節鏡でも
良好な軟骨修復を確認。

Safety

重篤な有害事象なし

モチジェル®に起因する重篤な
有害事象は認められていません。

このような患者さんに最適です

- スポーツ外傷による軟骨損傷
- 保存治療で改善しない軟骨欠損
- 離断性骨軟骨炎
- 変形性関節症へ進行する前に

適応の判断も含めて対応いたしますので、お気軽にご相談ください。



岩崎 倫政

教授 / 診療科長
上肢・スポーツ医学



小野寺 智洋

准教授
下肢疾患・足の外科



門間 太輔

准教授
上肢疾患・肩関節外科

担当医より

軟骨欠損は早期治療が重要です。早い段階
でご紹介いただくことで、変形性関節症へ
の進行抑制が期待できます。ぜひ気軽にご
相談ください。

TEL 011-706-5760 整形外科外来 / 平日 8:30-17:00

スポーツ医学診療センターのご紹介

外来担当医 SCHEDULE

月	火	水	木	金
近藤（下肢） 釜場（脊柱） 第1・3・5週 門間（スポーツ）	—	—	釜場（脊柱） 門間（スポーツ）	近藤（下肢）

主な対象疾患

上肢 投球障害肩（SLAP損傷・関節唇損傷・腱板損傷など）、肩関節脱臼（不安定肩）、肘離断性骨軟骨炎、肘内側側副靭帯損傷、肘部管症候群、TFCC損傷

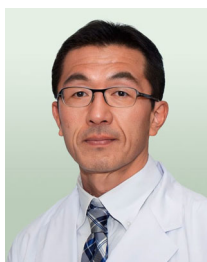
下肢 膝靭帯損傷（前十字靭帯・後十字靭帯・複合靭帯）、半月板損傷、膝軟骨損傷、膝蓋骨脱臼、足関節外側靭帯損傷、股関節インピンジメント（FAI）、グロインペイン症候群

脊椎 腰椎分離症、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎椎間板症、筋・筋膜性腰痛、椎間関節性腰痛、バーナー症候群、頸椎椎間板ヘルニア

靭帯損傷・捻挫・肉離れ・打撲などの外傷から、野球肩・野球肘・テニス肘・ジャンパー膝・疲労骨折といった慢性障害まで対応します。

DOCTORS

スポーツ医学診療センター 医師一覧



近藤 英司

センター長 / 教授
下肢・スポーツ医学



釜場 大介

副センター長 / 助教
脊椎脊髄疾患



門間 太輔

保健科学研究院 准教授
上肢疾患・肩関節外科

ご紹介・受診に関するお問い合わせ

011-706-5761 平日 8:30-17:00

受付／初診 8:30-12:00・再診 8:30-11:00（土日祝・年末年始は休診）

hokudaiorthop@med.hokudai.ac.jp

事前にお電話でご連絡いただけますと、より円滑にご案内できます。



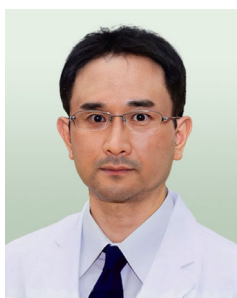
整形外科 医師一覧

岩崎 倫政

教授 / 整形外科 診療科長

上肢疾患・スポーツ医学

脊椎・上肢・下肢・股関節・腫瘍の各領域に専門医を配置し、運動器疾患を横断的に診療しています。ご紹介の際に、担当医をご指定いただくこともできます。



須藤 英毅

特任教授
脊椎脊髄外科・脊柱変形



松井 雄一郎

准教授
上肢疾患



角家 健

特任准教授
脊髄・再生医療



高橋 大介

講師
股関節外科



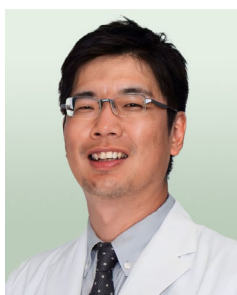
山田 勝久

講師
脊椎脊髄外科・脊柱変形



清水 智弘

講師
股関節



松岡 正剛

講師
下肢疾患・骨軟部腫瘍



遠藤 努

特任講師
脊椎脊髄外科



遠藤 健

助教
上肢疾患



大西 貴士

助教
脊椎脊髄外科・脊柱変形



本宮 真

助教
上肢疾患



佐藤 大

特任助教
下肢疾患



江畑 拓

特任助教
下肢疾患



後藤 佳子

客員臨床医
下肢・女性アスリート

診療・治療に関するお問い合わせ

011-706-5760 整形外科外来／平日 8:30-17:00

3ページ: 岩崎 倫政 教授・小野寺 智洋 准教授・門間 太輔 准教授

4ページ: 近藤 英司 教授・釜場 大介 助教・門間 太輔 准教授

予約方法のご案内

医療機関からの 紹介予約について

医事課 新来予約受付担当・紹介予約

FAX **011-706-7963**

TEL **011-706-6037**

患者さんを北大病院へ紹介いただく場合は、FAXにてお申し込みください。

受付曜日：月～金／受付時間：8時30分～17時00分（16時30分以降の受付は翌日対応になります）

※翌日の予約は15時00分までにお申し込みください。

患者さんからの 予約申込み方法

予約受付専用窓口

TEL **011-706-7733**

予約受付時間：平日 9時00分～16時00分（翌日の予約受付は15時00分まで）

精神科神経科・ リハビリテーション科

北海道大学病院 代表

TEL **011-716-1161**

精神科神経科の受診をご希望の場合は、代表にお電話をお掛けください。

リハビリテーション科の受診をご希望の場合は、代表にお電話をお掛けいただき「リハビリテーション科受診予約希望」の旨をお伝えください。

電話予約の際は、以下の内容を確認させていただきます

- | | |
|----------------|-------------|
| ■ 氏名 | ■ 受診希望の診療科 |
| ■ 性別 | ■ 北大病院の受診 |
| ■ 生年月日 | ■ 紹介元医療機関 |
| ■ 連絡先（住所・電話番号） | ■ 紹介状に記載の宛名 |

ID-Linkによる診療情報共有サービス（ICT連携）のご案内

当院では、患者さんの診療情報を共有する地域医療連携ネットワークサービス「ID-Link」を導入しております。地域の医療機関の皆さまへの情報提供を開始いたしましたので、お知らせします。また、ID-Linkを通じた情報共有を推進しており、連携機関の拡充を図っております。

当院へご紹介いただいております患者さんの診療情報の参照を希望される場合は、右の申請フォームよりご申請くださいますよう、お願い申し上げます。なお、詳細につきましては、当院地域医療連携福祉センターのHPよりご確認ください。



申請はこちらから

閲覧可能な情報

入退院情報・処方・注射・検体検査・DICOM画像・放射線検査オーダ・生理検査・食事・内視鏡検査・退院時要約・簡易サマリ（病名・アレルギー）・身長、体重、血液型



北海道大学病院
HOKKAIDO UNIVERSITY HOSPITAL

北海道大学病院 地域医療連携福祉センター

〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目 TEL 011-706-7943 / FAX 011-706-7945

<https://www.huhp.hokudai.ac.jp/relation/> 発行：2026年9月